

2. 定住意識

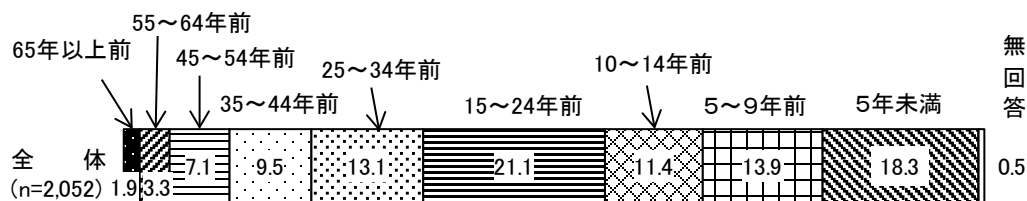
(1) 現住地居住年数

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.3%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



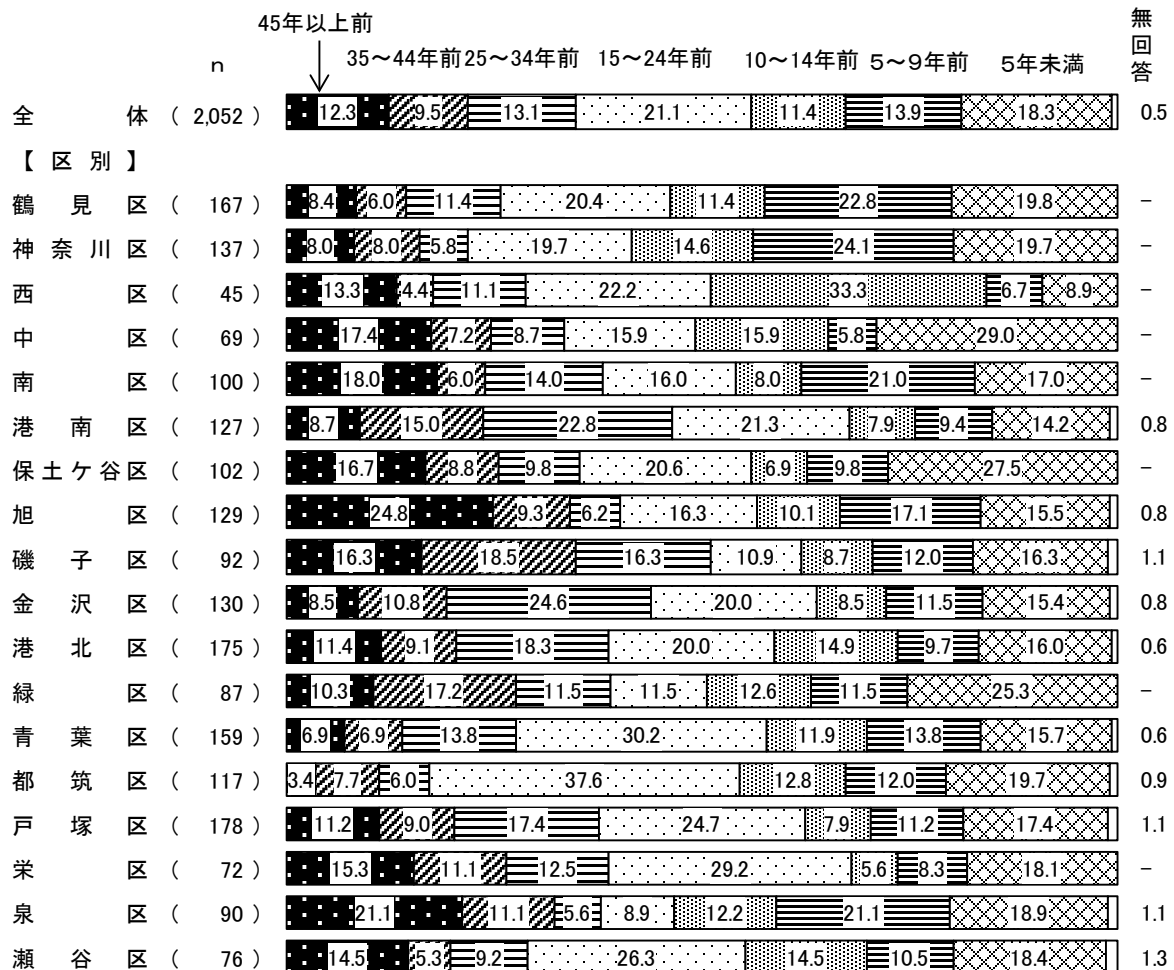
① 現住地居住年数 [区別]

「5年未満」の居住者は中区で3割近く

区別にみると、居住年数「5年未満」は中区(29.0%)で3割近くと最も多くなっている。一方、『45年以上前』は旭区(24.8%)で2割半ばと多い。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



② 現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で7割近く

ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1) (69.0%)で7割近くと最も多く、次いで家族形成期(63.9%)で6割半ばとなっている。

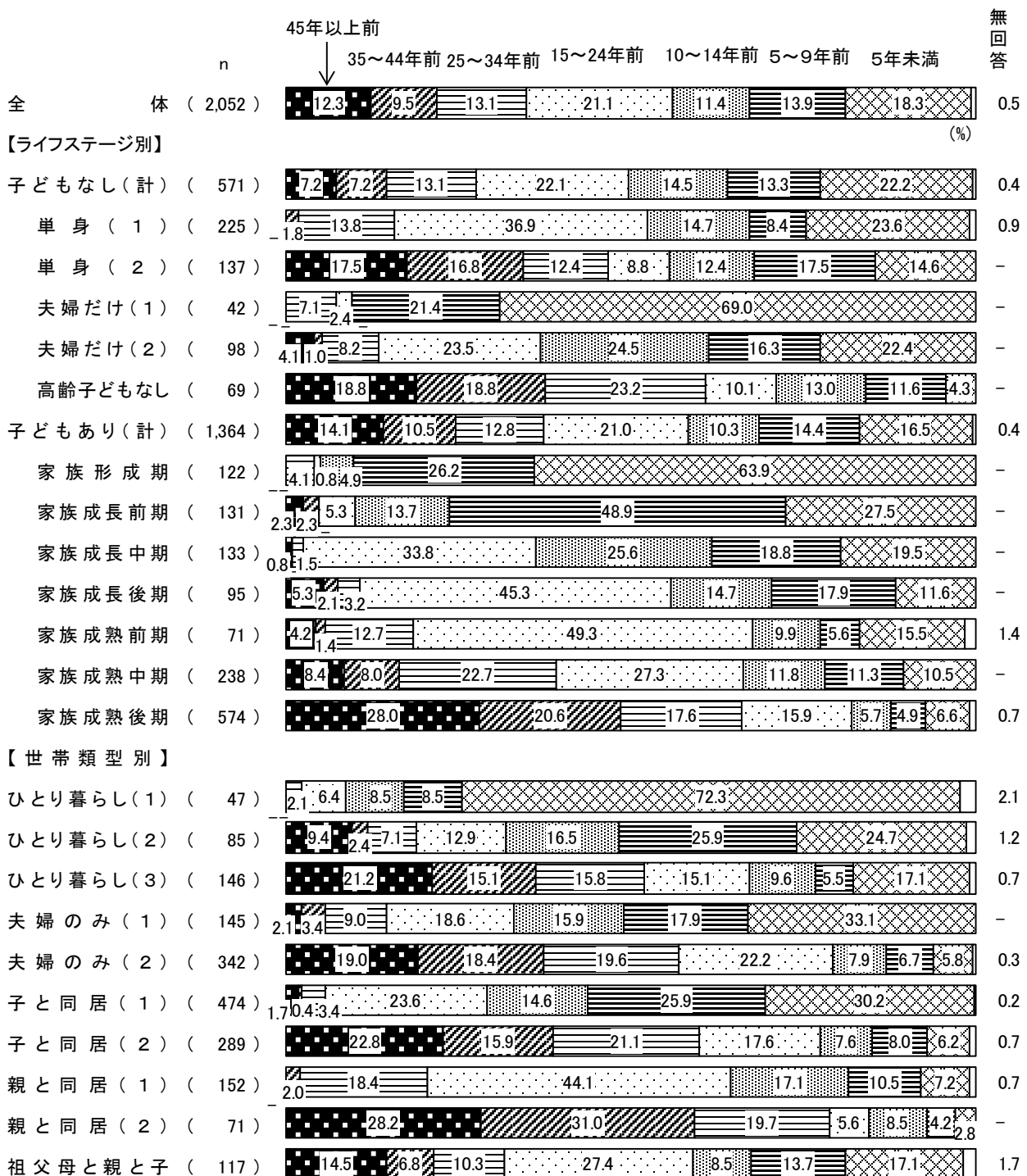
③ 現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で7割を超える

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1) (72.3%)で7割を超えて最も多くなっている。『45年以上前』は親と同居(2) (28.2%)で3割近くと最も多い。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



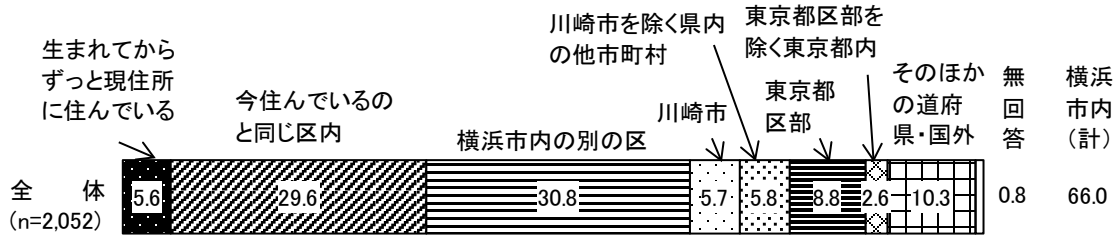
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

現住所の直前に住んでいたところについては、「横浜市内の別の区」(30.8%)が3割を超えて最も多く、次いで「今住んでいるのと同じ区内」(29.6%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(5.6%)を合わせた『横浜市内(計)』(66.0%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地 [全体]

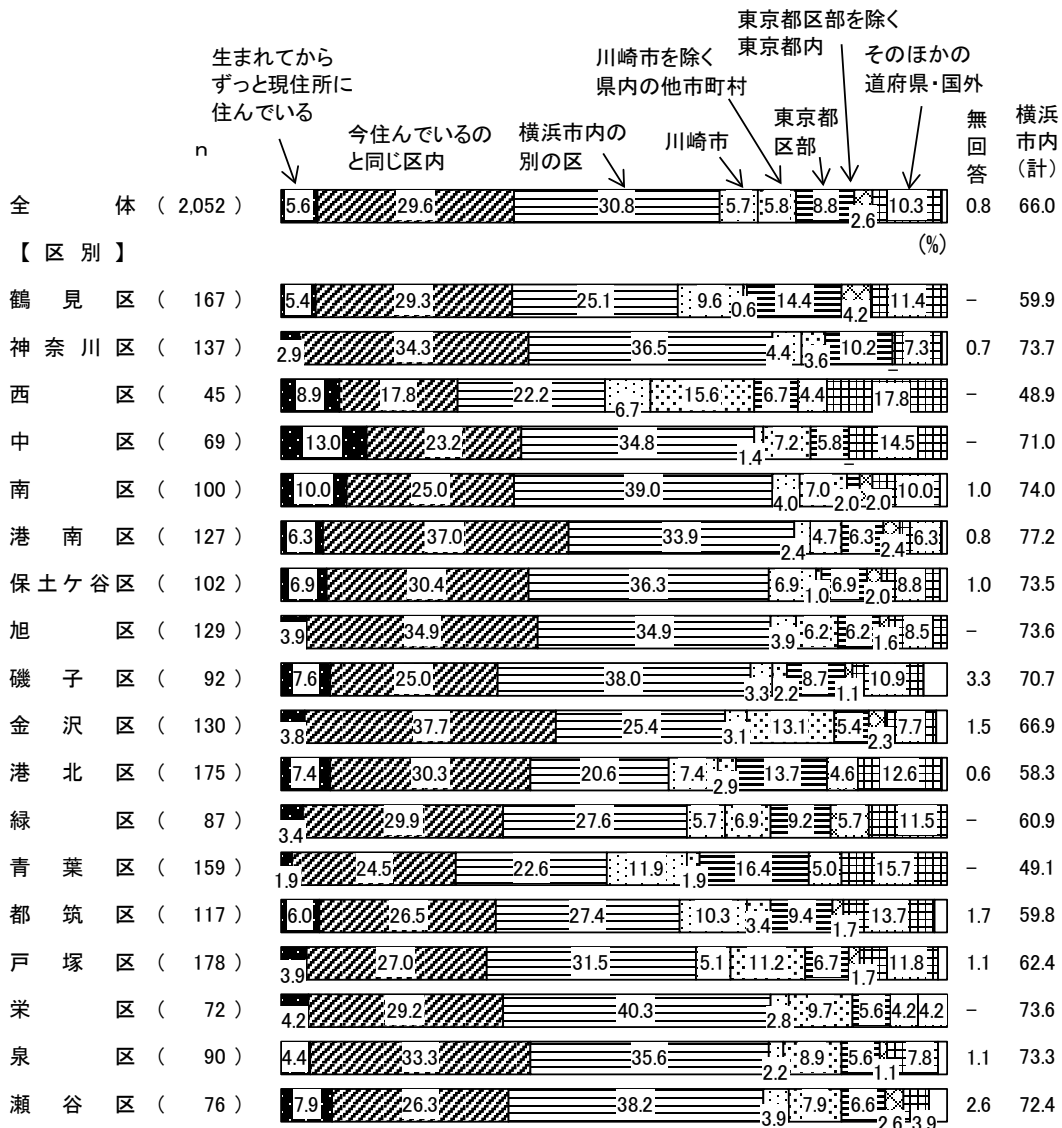


① 前住地 [区別]

『横浜市内(計)』は、港南区(77.2%)で7割半ば

区別にみると、『横浜市内(計)』は、港南区(77.2%)で7割半ばと最も多い。

図2-2-2 前住地 [区別]



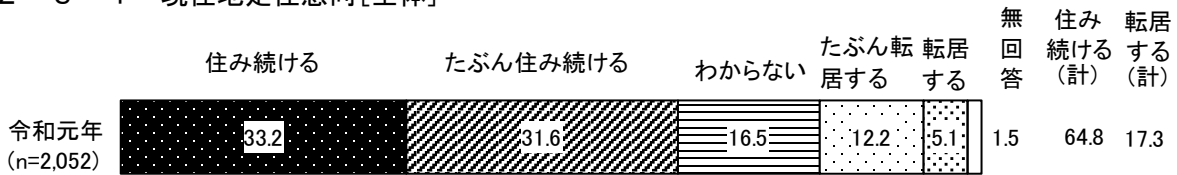
(3) 現住地定住意向

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

『住み続ける(計)』は6割半ば

現住地定住意向については、「住み続ける」(33.2%)と「たぶん住み続ける」(31.6%)を合わせた『住み続ける(計)』(64.8%)は6割半ばとなっている。

図2-3-1 現住地定住意向[全体]

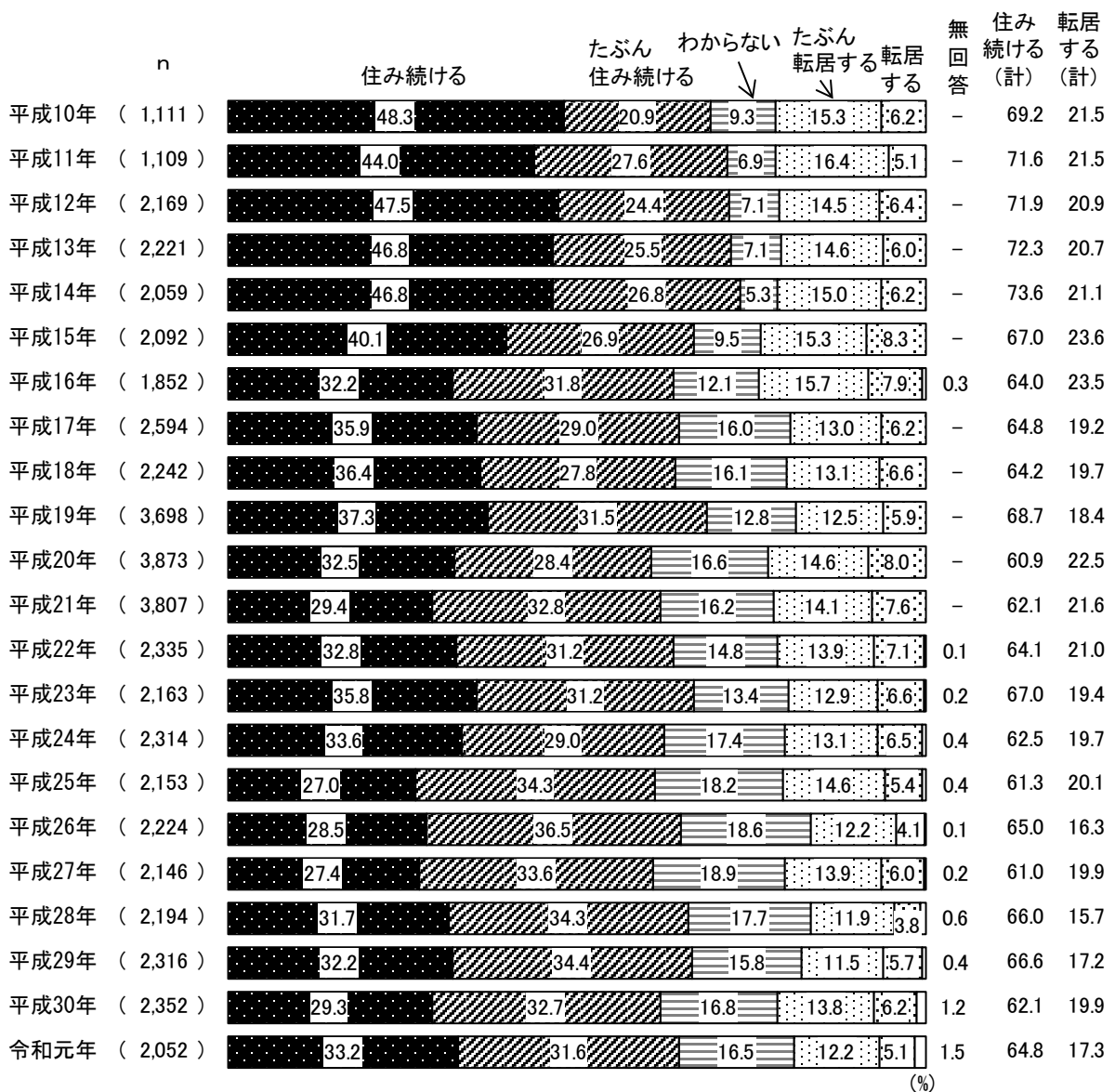


① 現住地定住意向 [経年変化]

『住み続ける(計)』は2.7ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『住み続ける(計)』は2.7ポイント増加している。

図2-3-2 現住地定住意向 [経年変化]



② 現住地定住意向 [ブロック別]

『住み続ける (計)』は北部で約6割と少ない

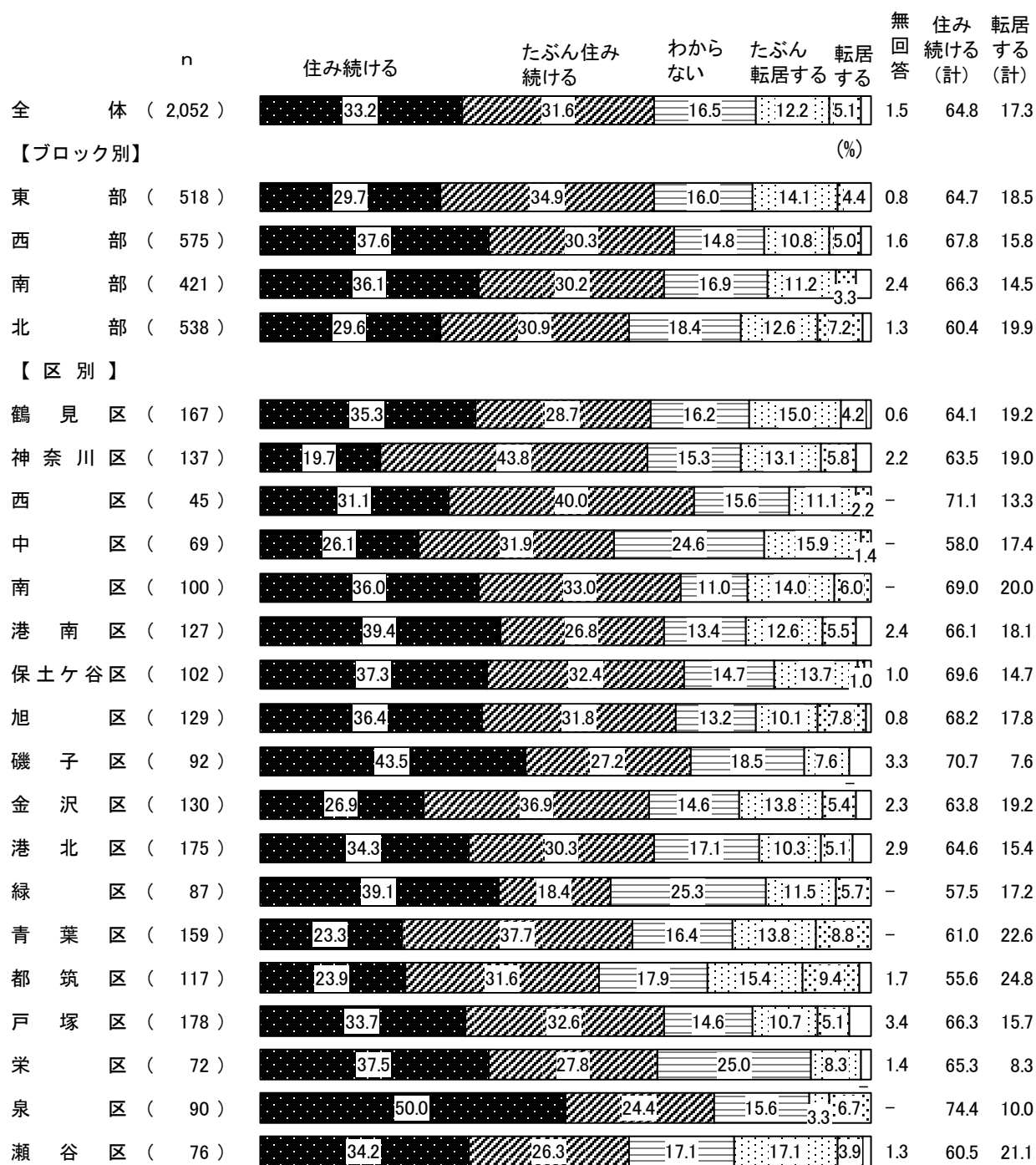
ブロック別にみると、『住み続ける (計)』は北部 (60.4%) で約6割と最も少なくなっている。

③ 現住地定住意向 [区別]

『住み続ける (計)』は泉区で7割半ば

区別にみると、『住み続ける (計)』は泉区 (74.4%) で7割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は都筑区 (24.8%) で2割半ばと最も多い。

図2-3-3 現住地定住意向 [ブロック別、区別]



④ 現住地定住意向 [年齢別]

『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い

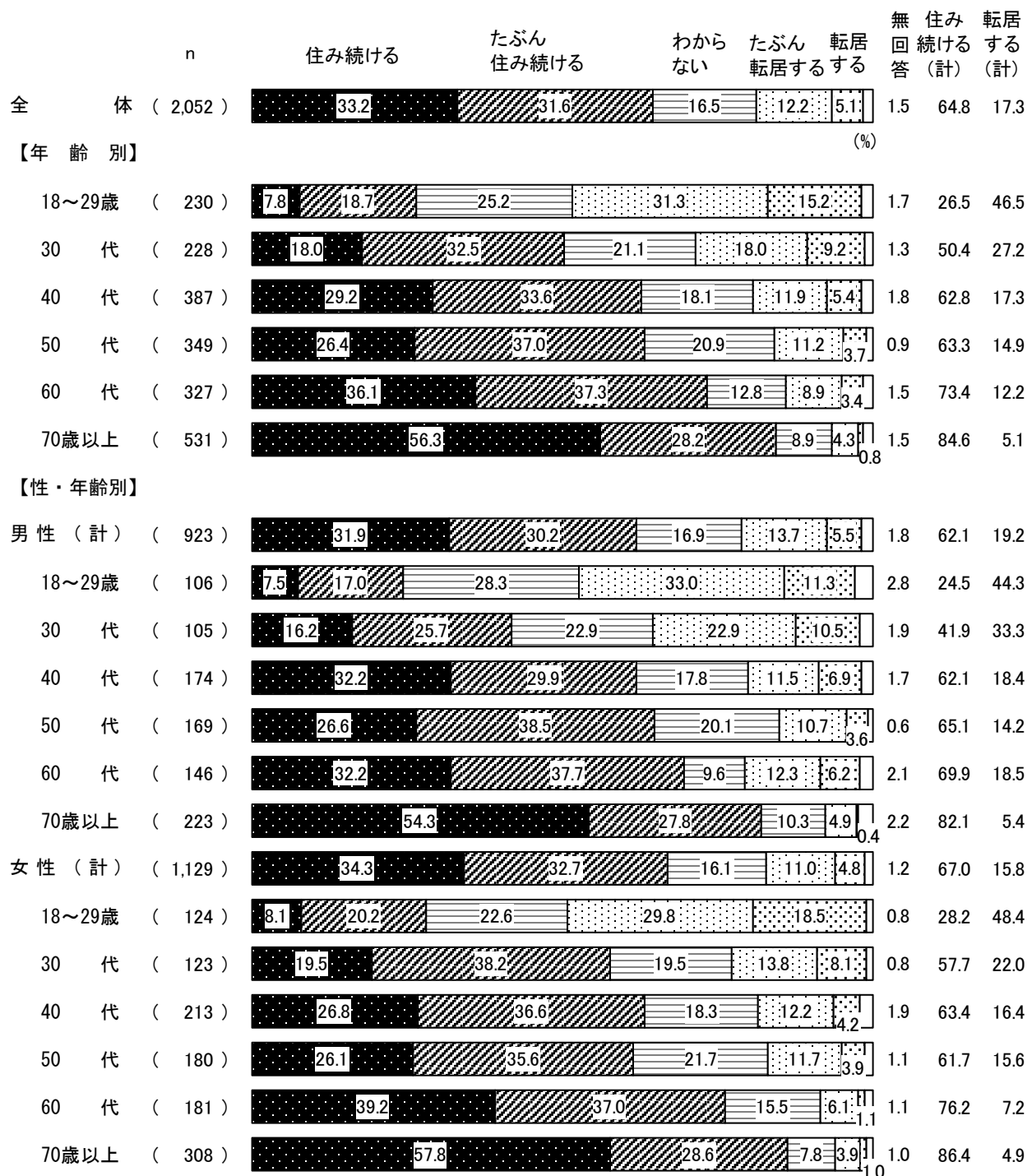
年齢別にみると、『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多くなっている。

⑤ 現住地定住意向 [性・年齢別]

『住み続ける（計）』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、『住み続ける（計）』は男女ともにおおむね年齢が高いほど多く、男女とも70歳以上で8割を超えている。また、50代を除き、男性よりも女性のほうが多くなっている。一方、『転居する（計）』は女性18～29歳（48.4%）で5割近くと多い。

図2-3-4 現住地定住意向 [年齢別、性・年齢別]



⑥ 現住地定住意向 [ライフステージ別]

『住み続ける (計)』は家族成熟後期で8割半ば

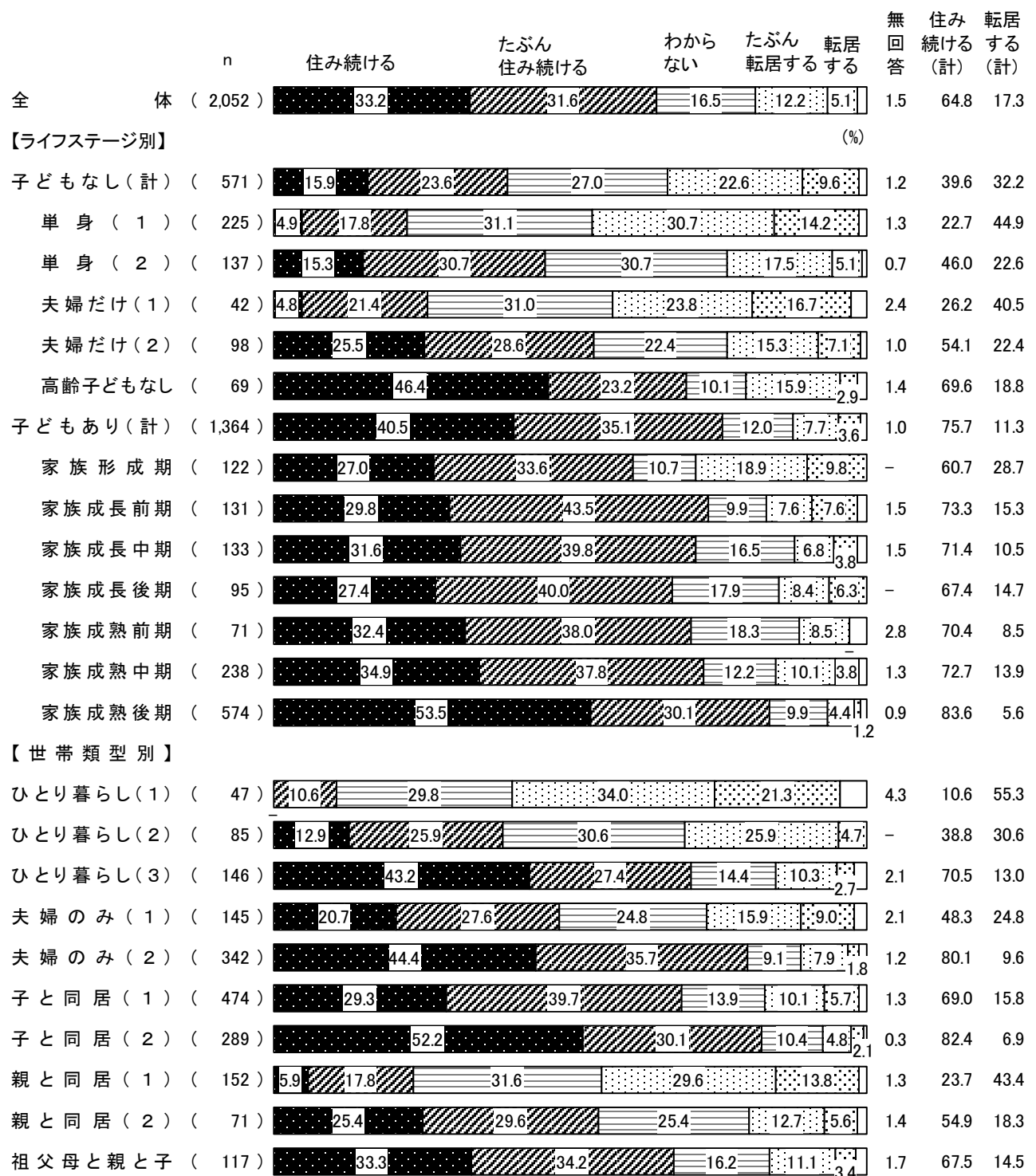
ライフステージ別にみると、『住み続ける (計)』は家族成熟後期 (83.6%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、単身 (1) (44.9%) で4割半ばと多い。

⑦ 現住地定住意向 [世帯類型別]

『転居する (計)』はひとり暮らし (1) で5割半ば

世帯類型別にみると、『住み続ける (計)』は子と同居 (2) (82.4%)、夫婦のみ (2) (80.1%) で8割を超えて多くなっている。一方、『転居する (計)』は、ひとり暮らし (1) (55.3%) で5割半ばと最も多い。

図2-3-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]



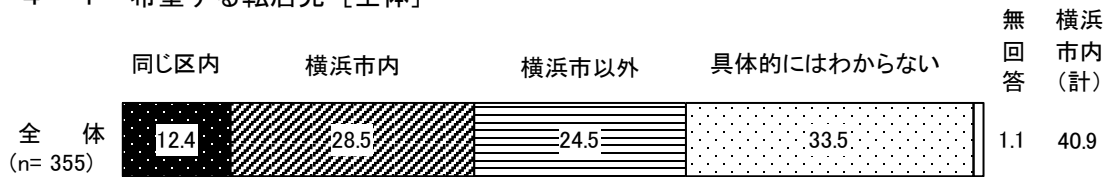
(4) 希望する転居先

(問3で「3」または「4」と答えた方に)
 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への転居意向は4割を超える

現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と回答した人(355人)に、希望する転居先を尋ねたところ、「同じ区内」(12.4%)と「横浜市内」(28.5%)を合わせた『横浜市内(計)』(40.9%)は4割を超え、「横浜市以外」(24.5%)を上回っている。

図2-4-1 希望する転居先[全体]



(5) 市内定住意向

『市内定住意向』は7割台を維持

現住地での『定住意向』に、現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と答えた人のうち希望する転居先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』(71.9%)は、前回調査から1.3ポイント増加して7割台を維持している。

図2-5-1 市内定住意向[経年変化]

